

【記載例】 以下の記載例を参考に、漏れのないよう記載・押印をお願いします。

第五十五号の様式 附則第二条の四関係



提出日を記入してください。

令和元年寄附分

市町村民税
道府県民税

寄附金税額控

住所、氏名（フリガナ）、性別、電話番号、生年月日、個人番号を記入。

令和元年 5月 10日 鳥取県知事 殿	整理番号	
住所 東京都千代田区平河町2-6-3	フリガナ	トットリ タロウ
	氏名	鳥取 太郎 
	個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 0 0
電話番号 03-5212-9077	性別	男  女
	生年月日	昭・大平 60・10・10

押印をしてください。

「個人番号」欄には、あなたの個人番号（行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号第2条第5項に規定する個人番号をいう。）を記載してください。

あなたが支出した地方団体に対する寄附金について、地方税法附則第7条第1項（第8項）の規定による寄附金税額控除に係る申告の特例（以下「申告の特例」という。）の適用を受けようとするときは、下の欄に必要な事項を記載してください。

（注1） 上記に記載した内容に変更があった場合、申告特例対象年の翌年の1月10日までに、申告特例申請事項変更届出書を提出してください。

（注2） 申告の特例の適用を受けるために申請を行った者が、地方税法附則第7条第6項（第10項）各号の規定に該当する場合には、申告特例対象年に支出した全ての寄附金（同項に限る。）について申告の特例の適用は受けられなくなります。その旨を当該寄附金税額控除に関する事項に記載した確定申告書又は市町村民税・道府県民税の申告書に記載してください。

寄附をした年月日と寄附金額を記入してください。

1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄付金額
令和元年 5月1日	30,000 円

2. 申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみすることができます。①及び②に該当する場合、それぞれ下の欄の口にチェックをしてください。

① 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者である



（注） 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者とは、(1)及び(2)に該当すると見込まれる者をいいます。

両方に該当する場合にのみ、ワンストップ特例の申請が可能です。

年の年分の所得税について所得税法第120条第1項の規定による申告121条（第1項ただし書を除く。）の規定の適用を受ける者

年の翌年の4月1日の属する年度分の市町村民税・道府県民税について、当該寄附金に係る寄附金税額控除の控除を受ける目的以外に、市町村民税・道府県民税の申告書の提出（当該申告書の提出がされたものとみなされる確定申告書の提出を含む。）を要しない者

② 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者である



（注） 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め申告特例対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数が5以下であると見込まれる者をいいます。

（切り取らないでください。）

令和元年寄附分

市町村民税
道府県民税

寄附金税額控除に係る申告特例申請書受付書

住所	何も記入しないでください。	受付日付印
氏名		殿

受付団体名

鳥取県